

R&Dスタッフによる異業種交流・相互啓発・人的ネットワーク形成の場

R & D マネジメント 交流会議

開催にあたって

R&Dマネジメント交流会議は、R&Dスタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1967年の創設以来、メンバー間の活発な研究と討議を積み重ね、おかげさまで60年目の活動に入ります。

第60期となる今期も、社会的課題の解決を視野に「VUCA時代における、新事業創出と持続的発展を実現するR&Dマネジメント」を主題テーマに掲げ、メンバーシップを基本に互いに学び合い、R&Dマネジメントのあるべき姿を探求する場として活動してまいります。異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには各自の課題究明、自社展開の絶好の機会として、熱意ある皆様のご参加をご期待申し上げます。

※ 入会ご検討中の方は、第1回例会に限り体験参加頂けず(要事前予約)。

開催要領

開催期間：2026年4月～2027年3月（全12会合）

日時：年間プログラムの開催日程に沿って開催（13:30～17:00）

開催：開催当初は「オンライン(Zoom)と会場開催(都内会議室)」での併用開催。

※第3回例会(合宿研究会)より、原則会場開催を予定。

< 第1回例会 > 2026年4月23日(木) 13:30～18:00 オンライン(Zoom)と会場の併用開催

【基調講演】変革期における新規事業の創出

その戦略と実行を富士フイルム第二の創業をもとに考える

(ご講演) 中村 善貞 氏 (一社)イノベーションアーキテクト 代表理事

元 富士フイルム(株) R&D統括本部 イノベーションアーキテクト



富士フイルムにて様々な新規技術・商品・事業の開発に携わった後、研究担当部長および商品部長として同社化粧品事業の立ち上げに貢献した。その後R&D統括本部 技術戦略部 統括マネジャー、同 先端コア技術研究所 副所長、イノベーションアーキテクト(特命)として社内外の新規創出に携わる。現在、(一社)イノベーションアーキテクト代表理事

【オリエンテーションとメンバー交流】

< 第2回例会 > 2026年5月28日(木) 13:30～17:00 オンライン(Zoom)と会場の併用開催

【基本解説】R&Dマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」

(ご講演) 植村 真樹 氏 本会議 コーディネーター 日本化粧品技術者会東日本支部事務局 / R & D 戦略・組織活性化アドバイザー (元(株)資生堂 フロンティアサイエンス事業部長)

【グループディスカッションと問題意識の交流】

< 第3回例会 > 2026年6月26・27日(金・土) 合宿研究会 (静岡県御殿場方面での宿泊研修を予定)

【メンバー討議】メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題

「メンバー交流シート」を活用し、参加メンバーの課題意識を共有するとともに、課題解決に向けた方策とそのための今後の議論の方向性を考察します。

< 第4回例会 > 2024年7月23日(木) 13:30～17:00

【ゲスト講演】R & D マネジメントと組織風土改革

～村田製作所での展開事例を交えて～

(ご講演) 林 幹生 氏 (公財) 京都高度技術研究所 京都市桂イノベーションセンター コーディネーター

元 (株)村田製作所 技術管理部 部長

【グループディスカッションと問題意識の交流】

参加対象

- R&Dマネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交流を希望される方々
- 事業会社のR&D企画部門を中心に、R&Dマネジメントに携わる方々

※コンサルティング関係の方々のご参加はご遠慮いただいております。

年間スケジュール： 2026年4月～2027年3月(全12回/13:30～17:00を原則)。

第1回 2026年 4/23(木)	【基調講演】事業変革期における新事業創出に向けた研究企画スタッフの役割 (ご講演) 中村 善貞 氏 (一社)イノベーションアーキテクト 代表理事 元 富士フイルム(株) R&D統括本部 イノベーションアーキテクト 【オリエンテーションとメンバー交流】			
第2回 5/28(木)	【基本解説】R&Dマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」 (ご講演) 植村 真樹 氏 本会議 コーディネーター 日本化粧品技術者会東日本支部事務局/R&D戦略・ 組織活性化アドバイザー (元株資生堂 フロンティアサイエンス事業部長) 【グループディスカッションと問題意識の交流】			
第3回 6/26-27 (金・土)	【合宿研究会：メンバー討議】メンバー各社におけるR & Dマネジメントの現状と課題 「メンバー交流シート」の活用により参加メンバーの課題意識の共有と、 課題解決に向けた方策や、今後の議論の方向性を探ります。			
第4回 7/23(木)	【ゲスト講演】R & Dマネジメントと組織風土改革～村田製作所での展開事例を交えて～ (ご講演) 林 幹生 氏 (公財) 京都高度技術研究所 京都市桂イノベーションセンター コーディネータ 元 (株)村田製作所 技術管理部 部長 【グループディスカッションと問題意識の交流】			
第5回 8/20(木)	第5回例会以降は、下記の時間構成で進めてまいります。			
第6回 9/24(木)	<table border="1"><tbody><tr><td>第1部：13:30～15:00 ・ゲスト講演 ・メンバー発表</td><td>➔</td><td>第2部：15:00～17:00 ・グループディスカッション ・テーマ別分科会討議*</td></tr></tbody></table>	第1部：13:30～15:00 ・ゲスト講演 ・メンバー発表	➔	第2部：15:00～17:00 ・グループディスカッション ・テーマ別分科会討議*
第1部：13:30～15:00 ・ゲスト講演 ・メンバー発表	➔	第2部：15:00～17:00 ・グループディスカッション ・テーマ別分科会討議*		
第7回 10/22(木)	【主な「ゲスト講演テーマ」や「分科会・研究討議テーマ」の例示】 ■テーマ・マネジメント(探索、推進、評価・・・) ■R & D成果の事業化とイノベーション創出 ■競争力を高めるR & D戦略の立案 ■R & Dにおける組織と人財のマネジメント ほか、メンバーニーズに基づき設定してまいります。			
第8回 11/19(木)	【*テーマ別分科会とは】 関心テーマ別に固定メンバーによるチームを編成し、複数回にわたり集中討議を行います。 異業種各社のメンバーが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的 な実践方策を研究・討議いたします。			
第9回 12/17(木)	【参考：前期(第59期)のテーマ別分科会テーマ】 ■VUCA時代における「R & D戦略」の策定 (7社7名) ■イノベーションを生む「テーマの創出」と「事業化成功の秘訣」(7社7名) ■「個」を活かしイノベーションを生み続ける組織づくりとマネジメント(11社19名、3チーム)			
第10回 1月中下旬 (金・土)	【合宿研究会】第3回例会<6/26～6/27(金・土)>、第10回例会<1月中下旬(金・土)>で開催 ■一泊二日にわたる合宿研究会は、メンバーが抱える問題や課題について相互に学び合い、 知的交流を深め、人的ネットワーク構築の好機です。			
第11回 2/18(木)				
第12回 3/18(木)	【最終例会】分科会活動成果の発表会：今期の振り返りと新たな課題意識の共有			

運営体制：本会議の企画運営およびサポートを頂きます。

【運営幹事】
実務家数氏にご依頼中

【コーディネーター】
植村 真樹 氏 日本化粧品技術者会 東日本支部 事務局
元 (株)資生堂 フロンティアサイエンス事業部長

【研究協力委員】
高橋 富男 氏 元 東北大学特任教授 産学連携推進本部 副本部長
元 住友金属鉱山(株) 研究開発本部 開発企画部長

企業競争力を高めるR&D戦略の立案

- ◆ R&Dを方向づけるビジョン、経営戦略とR&D戦略の整合性
- ◆ コア技術の明確化と強化、拡充
- ◆ コーポレート研究と事業部門研究のミッションと連携
- ◆ 将来の市場、技術予想とロードマップの作成
- ◆ 「選択と集中」の技術ポートフォリオマネジメント
- ◆ R&D部門のグローバル化対応

テーマ・マネジメント（探索、推進、評価）

- ◆ テーマ探索の具体的方法とマネジメント
- ◆ コア技術戦略の布石、融合、展開
- ◆ 社会トレンドとテーマ設定の方向性
- ◆ テーマの発案と評価、推進のマネジメント
- ◆ 研究フェーズと開発フェーズのマネジメントの相違

R&Dマネジメントの役割と目的

- ◆ R&Dの目的とイノベーション
- ◆ 企業とイノベーション創出
- ◆ R&Dでのリーダーシップとマネジメント
- ◆ 勝てるR&D戦略、差別化戦略、知財戦略
- ◆ 経営にインパクトを与える成果を得る仕組みづくりとサポート体制の整備
- ◆ R&D部門における企画の役割

R&D成果の事業化と新規事業創出

- ◆ 事業価値を考えたR&D成果の活用
- ◆ R&Dとマーケティング、オープンイノベーション
- ◆ プロジェクト推進とゲート評価
- ◆ 研究から開発、事業化へのプロセス、死の谷の克服
- ◆ 新規事業創出の要件
- ◆ ビジネスモデルの探求とテーマ創出

組織と人材のマネジメント

- ◆ 組織を不活性化させない仕組みづくり
- ◆ 創造的組織、風土の醸成
- ◆ カオスと秩序のバランス
- ◆ 創造的人材の発掘と育成

これまでの参加者の声

- ◆ 前半の講義と後半の議論で得た多くの気づきや学びは私の財産です。エレベーターピッチ手法はすぐ実施します。言語化＝見える化は担当者にも組織にも有用ですね。
- ◆ 皆さんとの議論を通じ、同じ課題を共有できた場面では勇気を頂き、既に一步踏み出されている活動は参考にさせて頂ける貴重な機会を得ました。組織作り、マネジメントの両面で、大変有益な考え方を学ぶことができたので、活用し、イノベーションを生み出す職場を目指して動きます。
- ◆ 新規事業における課題感には各社共通するものが多いことを実感した。自社では顧客価値の明確化が属人的だった為、仕組みを体系化している他社例を活用したい。
- ◆ イノベーションの種が芽を出して、会社全体で育てていく組織作りというコンセプト的な表現を見出せました。自社でもこの表現を使って、組織風土作りについて議論を深め、まずは心理的安全性を高められるマネジメント育成に着手していきます。
- ◆ 議論を通じて、組織・風土づくりとマネジメントの協調が組織の成長にとって欠かせないということに気づけました。放置せず、メンバーに関与し続けるマネジメントを行うために、1on1の質を高めるとともに、挑戦を恐れない風土を醸成するために、個人の専門性・スキルを高める後押しを積極的に行いたいと思います。
- ◆ R&Dマネジメントは、時代や環境が変化しても、課題感に大きな変化は無いように感じた。自分事として精一杯の発信をしていく事が最善であろう。パーパスを語り合い、人とのコミュニケーションをもう一段深めていくことにより、組織を完成させたい。

前期（59期）活動内容（2025年4月～2026年3月：全12会合実施）

第1回	【基調講演】 戦略的技術マネジメント～科学・技術とビジネスの架け橋～ 山口大学理事副学長(学術研究担当) 上西 研 氏 【オリエンテーション／グループディスカッション】 自己・自社紹介と課題意識の共有～
第2回	【基本解説①】 R&Dマネジメントの基本的考え方と研究企画部門の役割 本会議 コーディネーター 植村 真樹 氏 【グループディスカッション】 自社・自身における R & D マネジメントの役割・機能
第3回 合宿研究会	【メンバー集中討議】 メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題 ～メンバー交流シートをもとに課題意識の共有、意見交換～
第4回	【基本解説②】 研究開発の価値評価～イノベーション時代の費用対効果の実践的考え方～ (株)テクノ・インテグレーション 代表取締役 出川 通氏 【グループディスカッション】 研究から開発、事業化へのプロセスとスタッフの役割
第5回	【メンバー発表】 メンバー各社のお取組み紹介、課題、今後の展開・・・ 出光興産 (株)様 / (株) LIXIL様 【発表を受けてのグループディスカッション・意見交換】
第6回	【ゲスト講演】 QRコードの開発・普及とイノベーション (株) デンソーウェーブ 主席技師 原 昌弘氏 【ゲスト講演を受けてのグループディスカッション・意見交換】
第7回	【メンバー話題提供】 メンバー各社のお取組み紹介、課題、今後の展開・・・ 味の素 (株) 様 / シスメックス (株) 様 【テーマ別分科会討議、第1回】
第8回	【ゲスト講演】 OKIのイノベーション人材育成の取り組み OKIコンサルティングソリューションズ (株) 千村 保文 氏 【テーマ別分科会討議、第2回】
第9回	【ゲスト講演】 最近の研究開発マネジメントの動向 東北大学名誉教授 長平 彰夫 氏 【テーマ別分科会討議、第3回】
第10回 合宿研究会	【集中討議】 各グループからのサマリー報告と全体共有 最終討議に向けての調整、検討 【テーマ別分科会討議、第4回】
第11回	【テーマ別分科会討議、第5回】 これまでの議論の整理と成果報告に向けての集中討議
第12回	【分科会活動報告会】 議論・研究討議の成果発表と成果資料交換・全体共有

前期（59期）参加企業一覧

※企業名50音順

味の素 (株)	バイオ・ファイン研究所 兼 研究管理部企画・推進グループ	テーブルマーク (株)	食品総合研究所 研究企画チーム
出光興産 (株)	先進マテリアル／機能化学品部 機能材料研究所 研究総括課 主任	テルモ (株)	人事部 HRBP(CTO管轄 兼 心臓血管カテーテル)部長
AGC (株)	電子カテーテル 電子部材事業本部 企画室 企画グループ シニアマネージャー	東急建設 (株)	技術研究所 研究支援・推進部 研究企画グループ
AGC (株)	技術本部 先端基盤研究所 開発推進チーム シニアマネージャー	東京応化工業 (株)	開発本部 課長
オリンパス (株)	技術戦略機能 開発統括 Director	東京応化工業 (株)	開発本部 課長
オリンパス (株)	技術戦略機能 R&Dケーパビリティハブ	豊田合成 (株)	開発本部モビリティ開発部 技術企画室 室長
オルガノ (株)	技術開発本部 開発センター企画管理部	(株) 日本触媒	R&D統括部 部長
花王 (株)	研究開発部門 研究戦略・企画部 部長	(株) ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 室長
キュービー (株)	研究開発本部 グループR&D推進部チームリーダー	(株) ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 研究企画グループ
キリンホールディングス (株)	研究開発推進部	三菱鉛筆 (株)	技術企画室 室長
シスメックス (株)	テクノロジーイノベーション本部 テクノロジーイノベーション企画課 係長	(株) 村田製作所	技術・事業開発本部 技術管理部 技術管理1課 シニアプロフェッショナル
積水化学工業 (株)	社長室 政策調査グループ シニアアドバイザー	ヤマハ発動機 (株)	技術・研究本部 技術戦略部 技術戦略グループ
積水化学工業 (株)	R&Dセンター 先進技術研究所 先進技術研究所 企画センター 新領域プロジェクト 課長	横河電機 (株)	マーケティング 本部グローバルイノベーションセンター戦略企画部 研究基盤運営課 課長
センクスシア (株)	研究開発部 開発技術管理グループグループ長	(株) LIXIL	技術企画部 部長
太陽誘電 (株)	開発研究所 開発企画部	(株) LIXIL	LTH技術研究所 課長
太陽誘電 (株)	開発研究所 開発企画部 新川崎センター-SOLairoLab 担当課長		

参加要領

【事業コード：260028】

■ 参加費／1名様

正会員：297,000円（本体価格 270,000円＋税）
一般：330,000円（本体価格 300,000円＋税）

※上記料金は資料代・通信費などを含んでおります。
※合宿研究会など実施の際は、参加費を別途ご請求致します。
※参加費の分割支払いや請求品目変更も可能です。
お気軽にご相談ください。

■ 申込方法

企業研究会のウェブサイトで

R&Dマネジメント交流会議



「お申込は[こちら](#)からお申し込みください。

※お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、
第1回例会のご案内をメール送信いたします。

■ 体験参加

第1回例会（4/23）は、参加をご検討中の方に、
本会議の雰囲気をご覧頂く体験参加が可能です。
要：事前予約。

※「体験参加」は、正式参加メンバー募集の一環として
ご案内しております。
体験参加後、正式ご参加をいただく際、正規のご参加
費を申し受けます。

■ お問合せ・お申込先

一般社団法人 企業研究会 担当：池田（いけだ）

E-mail：s-ikeda@bri.or.jp

TEL：080-1393-5595（直通）

〒110-0015 台東区東上野1-13-7 ハナブサビル